



冬タイヤの準備

11月に入り、朝晩は冷え込み日中の気温も少しずつ下がってきています。近年、都心部でも大雪に見舞われることがあり、サマータイヤを装着した車両が立ち往生して深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こしたり、大きな幹線道路が封鎖されるなど大混乱になることがあります。そこで必要なのが「冬タイヤ(スタッドレスタイヤ)の準備」です。

スタッドレスタイヤへの交換タイミング

💡 目安は初雪時期の1ヶ月前

スタッドレスタイヤへの交換時期は各地の初雪時期の1ヶ月前を目安とするのが良いでしょう。早めに交換を済ませることで、急な積雪があっても余裕が持てます。さらに、整備工場の混雑やタイヤの在庫切れの心配も減らせます。特に新品のタイヤは慣らし走行をすることでタイヤの性能が発揮されますので、初雪情報を確認して早めの交換をお願いします。



豆知識

ひとつの目安として、札幌→9月末 東京→12月初旬 大阪・名古屋→11月下旬 を参考にしてください。

積雪がなくてもスタッドレスタイヤが必要な理由

💡 気温7度以下では冬タイヤを

スタッドレスタイヤは積雪時にその能力を発揮するだけでなく、気温が低くなった時の乾いた路面でもメリットがあります。

一般的にサマータイヤが性能を発揮できる気温の下限は7度と言われます。それを下回るとゴムが硬くなり、グリップ力やブレーキ性能が低下し、制動距離が長くなってしまいます。

しかしスタッドレスタイヤはゴムが柔らかいため、低温時でもタイヤが硬くならず高いグリップ力を発揮し、ブレーキをかけてもしっかり止まります。積雪がなくても、気温が低いときにはスタッドレスタイヤの装着が最近では推奨されています。

サマータイヤとスタッドレスタイヤは、全く異なる性能を持つ



スタッドレスタイヤ

-20度でも硬くならない特殊なゴムで、路面との摩擦を多くしてスリップを防ぐ。



サマータイヤ

気温7度以下になるとゴムが硬くなり、路面との摩擦が減りブレーキ性能が低下。

スタッドレスタイヤの交換はぜひ、弊社担当営業へお声掛けください

お問合せ先

 **キムラユニティ株式会社**

100 日間無事故キャンペーン事務局

担当者 / 沢田・橋本

TEL:0587-32-1244 FAX:0587-34-6466

safety_message@rb.kimura-unity.co.jp

<http://www.carmanagementservice.com/>